



発行年月日

2025年9月1日

～2学期がスタートしました。～



～緊急引き渡し訓練へのご協力ありがとうございました。～

先日は熊本県内に大雨が降り大きな被害となった周りの方も多くおられたかと思います。お見舞い申し上げます。ほくぶ幼稚園は幸いにも高い位置に立地しておりますので水害の被害は免れておりますが地球環境の変化も大きく災害時の適切な対応の大切さも改めて学びとなりました。災害時の預かり時の備蓄等もしっかり見直して備えていきたいと思ひます。

～2学期がスタートします～

9月から新入園児さん6名を迎えます。ちゅうりっぷ組に満3歳児さん4名・0歳児さんに2名がほくぶ幼稚園のなかまに入られます。全園児数197名になります。よろしくお願いいたします。子どもたちの園生活も随分と落ち着いて過ごせる充実の時期になります。「運動会」・「あそびっこ」と大きな行事に取り組んでいきます。クラスの友達との関わりも各学年、それぞれに深まっています。未満児さんは、日々の生活を大事にしていますがその毎日に大きな吸収をしている一人一人です。身体の動きや言葉の獲得の源に保育者との信頼関係や基本的生活習慣の大切さがあることを感じながら充実の秋を過ごしていきます。以上児クラスは、大きな行事が成長の節目ともなっています。その背景には一人一人がクラスの中で認められ自信をつけていく取り組みの過程を大切にしています。子どもさんのおうちでの話・つぶやきしっかり聞いて共感してあげてください。



2学期の行事予定表

≪9月≫	1(月)	教育時間通常保育開始 14:00 降園
	2日(火)	年長園外保育 江津湖
	3日(水)	年長園外保育 江津湖予備日
	5日(金)	2026年度1号入園説明会
	16日(火)	年長卒園活動
≪10月≫	1日(火)	2026年度1号児入園願書受付
	30日(木)	年少運動会 31日(金) 予備
≪11月≫	6日(木)	年中・年長運動会 7日(金) 予備日
	26日(水)～27日(木)	あそびっこ 28日予備日
≪12月≫	17日(水)	クリスマス会
	19日(金)	餅つき会
	23日(火)	教育時間終了日

★ 10月以降 年少・年中・年長各学年 園外保育も数回 計画しております。

お知らせ

※親子絵本貸し出しは第1, 3金曜日から第2, 4の金曜日に変わりました!!

※未満児成長を喜ぶ会
3月6日(金) 終了予定 11:00



一人一役運動会・あそびっこ係さんお世話になります！！

《運動会》

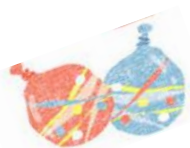
※会場整地のご協力をお願い：10月2日（木）または 3日（金）9：15～10：15 の1時間程度

※運動会前日準備お手伝い：年少 10月29日（水）または 年中・長 11月5日（水）15:00～16:00

※運動会当日お手伝い：年少 10月30日（木）または 年中・長 11月6日（木）詳細は後日

《あそびっこ》

※事前準備お手伝い：11月18日（火）・19日（水）・20日（木）9:15～10:00 の中で来れる日にご協力をお願いします。詳細は10月のおたよりでお知らせします。



ほくぶえんにち

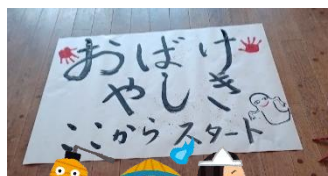


ご参加・ご協力ありがとうございました！！

今年度2回目となるほくぶえんにち、おひさまネット役員会、イベント係さん、おやじの会の皆さん、魔女さんこと舩島先生の協力のもと、「ほくぶえんにち」を開催することができました！！

浴衣や甚平姿の子どもたち、久しぶりに会えた1号のお友達や、大きくなった卒園児のお兄ちゃん、お姉ちゃん。たくさんのご参加ありがとうございました。いつもとは違う雰囲気を短い時間で楽しんでいたのではないでしょうか？

当日24日は大雨の心配もありましたが最後まで降ることもなくお天気にも恵まれ大盛況でした。来年度に繋げていけるように、ご感想等ありましたらお寄せ下さい。



村山さんの親子 DIY 教室



8月9日（土）に、村山さんによる DIY 教室が開催されました。ファームで大活躍の村山さんですが、幼稚園のおもちゃ入れやイスなど壊れると保育者も子どもも「村山さ～ん」と頼りになるくらい木工もお手の物です！今回は、3組の方がご参加くださり、親子協力し合いながらどれも素敵な本立てが出来ました！機会がある際は、興味がある方お待ちしております♪

サツマイモ被害！！

大雨の後、子どもたちが植えたサツマイモの苗が、猪に食べられてしまいました。これ以上食べられないように対策を考えています！！





研修に参加してきました！！

この夏いろいろな研修に先生たちが参加し、たくさんの学びを吸収してきました！！
それぞれの学びを報告し合い、有意義な夏になりました。この学びを保育に生かしていきたいと思
います！！ 職員の感想を一部抜粋して記載いたします。

【熊本学園大学 幼保小の架け橋プログラム】

長崎大学教育学部准教授 を聞いて

架け橋プログラムをしましょう！という通達がまさに市からきたところで、理念が違う他園と一緒にどうやって？と、疑問を抱いていたが、今回の講義を聞く中で自分が引っ掛かっていたものが理解できた。まずは、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」（文部科学省）と照らし合わせながら今行っている保育をしっかりと言語化して家庭にも小学校にも伝えていくことが大切だと感じた。

（ 保育主任：梶）



むぎっこ保育園では、子ども
もたちが保育の中でご飯を
炊くそうです！

【鹿児島 むぎっこ保育園・むぎのめ子ども園・ユーススコラ鹿児島福祉事業型の専攻科・大学の視察】

3 施設すべてに共有していたのは、子どもが自分で選び、決める経験を幼少期から積み重ねて大切にしていること。むぎっこ保育園から続く、地域での「切れ目ない支援」幼児期～学童期～その後の進路まで（ユーススコラ鹿児島）地域全体で子どもを繋げ、支えていく支援の仕組みに驚きと学びがあった

（年長特別支援：宮崎）



園内リズム研修

園内では、0歳児から5歳児までのリズム研修を2日間に分けてしました。1日目は、崩れてできなかった子どもが2日目は一生懸命に頑張っているワニのリズムに感動しました。まずは、保育者が楽しむということを聞いて「よし！やるぞ～」と楽しみました。保育者が楽しむ姿を見せることも子どもたちの挑戦したくなる姿につながることを学びました。

（年少特別支援：立石）

東京 和光乳幼児研「夏の研修会」

「子どもからの生活を考える」というテーマに参加しました。1番印象に残っているのは、「みんなトイレに行って！」「だめ！」という言葉は何でダメと言っているのか職員がみんなで考えて使わなくなったという話でした。保育者の声掛けで子どもが判断するのではなく子どもを信頼するかが大切。保育チームで共通理解をしていく大切さを感じました。（2歳児：山本）

園内研修「インクルーシブの中のじぶんらしさ」のテーマで研修をしました。「相手のことを知る」「自分を知ってもらえた」というやり取りを重ね、目に見える友だちの姿だけではなく、気持ちにも目を向けられるようになることを学んだ。保育者は、子どもの興味・関心に目を向けながら安心して自分らしく過ごせることがインクルーシブな環境につながることを学びました。

（年中特別支援：川内）